

# 受けましたか？

## 麻しん・風しん

### 予防接種 MR1期



せっかく予約をしても突然の体調不良で接種できなかった場合、  
無料の接種期間を過ぎる場合があります。  
できるだけ早めに接種しましょう。



**対象** 生後12か月～24か月に至るまでの方

**接種  
期限** 2歳の誕生日の前日まで

**接種  
場所** 大阪市委託医療機関



**費用** 無料 ※但し、上記接種期間内に限る



この期間を過ぎると任意接種となり  
**1万円程度**の自己負担がかかります

接種スケジュール



#### 令和6年度に接種の機会を逃した方へ

令和6年度においてMRワクチンの供給が不安定な状況にあったことから、接種を受けられなかった方の接種期間を延長しています。

【延長対象者】1期:令和4年4月2日～令和5年4月1日生まれの方

2期:平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれの方

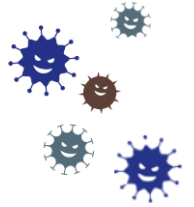
【接種期間】令和7年4月1日～令和9年3月31日まで(2年間延長)

詳細な内容はホームページをご参照ください



# Q & A

# 麻しん・風しん (MR1期) コーナー



## Q1 なぜ接種するの？

### 『麻しん』にかからないようにするため

感染力が極めて強く、免疫のない人が感染するとほぼ100%発症します。感染して回復するまで7~10日間と長いので、身体への負担が強く、肺炎や脳炎など重症化すると入院することがある病気です。

### 『風しん』にかからないようにするため

麻しんに似た病気ですが、症状の強さや合併症は麻しんより軽いといわれています。しかし、妊娠初期の妊婦がかかると先天性風しん症候群(心疾患・白内障・難聴など)のこどもが生まれる可能性が高くなります。女性だけでなく社会全体で予防した方が良い病気です。

## Q2 MRワクチンの効果は？

### 麻しんと風しんの両方の免疫がつきます



麻しんと風しんそれぞれ予防する薬が混合されているワクチンなので2つの病気の免疫がつきます。個人差はありますが、2回接種することで95%程度の子どもに免疫がつきます。

## Q3 いつ接種する？

### 1歳すぎたらすぐ



1歳未満の赤ちゃんは、お母さんのおなかの中でもらった麻しんに対する免疫(移行抗体)により守られています。そのため、1歳のお誕生日を迎えたらすぐに接種しましょう。

## Q4 副反応は？

### 一過性の症状がみられることがあります

接種直後から数日中に接種部位の発赤、はれ、しこりなどがみられることがありますが、これらは一過性で数日中には消失します。また接種後2週間以内に発熱、発疹がみられることがあります。

## Q5 最近の流行は？

麻しんは **海外で流行** しています

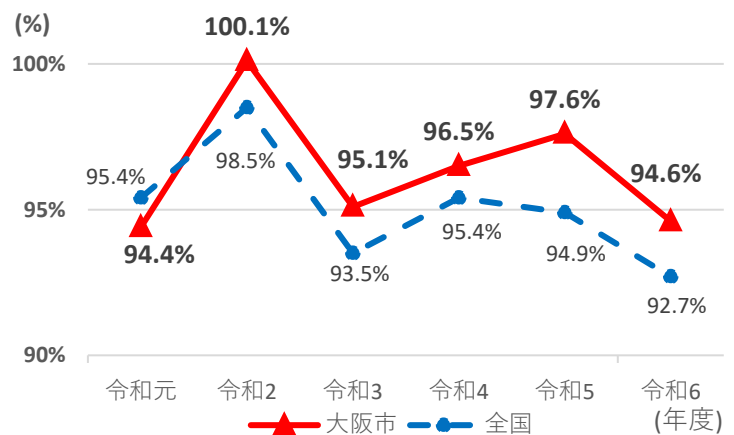
風しんは **定期的に国内でも流行** します

今も海外において麻しんの流行がみられており、毎年国内でも患者の発生が報告されています。風しんも過去に数年周期で流行がみられ、近年は麻しんと同様に局所的に発生しています。入国や海外留学時にワクチン証明を求める国もありますので今のうちに基礎免疫をしっかりとつけておきましょう。

## Q6 みんな接種してるの？

### 大阪市の接種率

**94.6%** (令和6年度 MR1期)



国は集団免疫を維持し流行を防ぐために、95%以上の接種率を目標としています。

麻しんにかかる症状が重くなる可能性がありますので全員に接種してほしいワクチンです。